



広げよう！ピンクリボンの輪 カーネーションとともに ～フラワーショップで乳がん検診を呼びかけ～

と き 5月13日(日) 各生花店の営業時間(としまえん前は午前10時～)

と ころ 区内フラワーショップ31店舗、としまえん(向山3丁目)

「母の日」の13日、区は乳がん体験者の会「ピンクリボン in NERiMA」と協力し乳がん検診の受診啓発キャンペーンを区内各地で実施した。

4年目となる今年は、区内のフラワーショップ31店舗協力のもと、母の日に贈るお花と一緒に乳がん検診の受診を促すメッセージ入りのティッシュを配布した。

協力してくれたフラワーショップの店員は、「昨年のキャンペーンで検診を知った母が、区の乳がん検診を受診して乳がんが見つかり、手術を受けた。本当に良かった。私も検診を受けなくてはね。」と話していた。

キャンペーンでは、フラワーショップのほか、(株)豊島園の協力のもと、区内の遊園地「としまえん」の前でもティッシュを配布した。

ピンクリボン in NERiMA代表の西貝圭子さん(区内在住)は、「乳がんは早期発見が大切で、月に一度の自己触診でも気づける可能性が高い。自分自身や家族との将来のためにも、少しでも多くの方に乳がんのことを知ってもらい、関心を持って欲しい。」と話した。



▲フラワーショップでのキャンペーンの様子



▲としまえんでのキャンペーンの様子

【練馬区の乳がんの状況】

平成28年、65歳未満女性のがん死亡原因の中で、乳がんは1位である。

練馬区の乳がん検診の受診率は、平成28年度は24.3%と昨年度より微減。4人に3人が検診を受けていない状況が続いている。

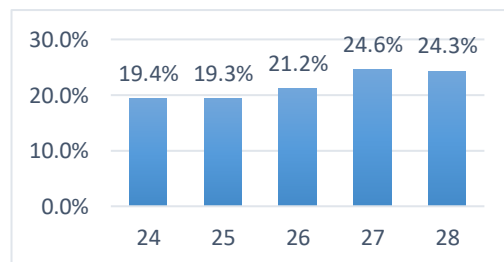
乳がんは、早期発見・早期治療で9割以上の方が治ると言われている。日頃から月1回の自己触診を行い、自分の身体に関心を持ち、乳がん検診を受けることが大切である。

【ピンクリボン in NERiMA (旧：あけぼのNERiMA) とは】

(代表：西貝圭子 会員数：10人)

乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動を行うため、乳がん患者会「あけぼの会」(全国組織：昭和23年発足)の練馬区在住メンバーを構成員として平成24年に発足した団体。

啓発活動の他、乳がんの相談を受けるサロンを開いている。



▲練馬区の乳がん検診受診率推移(年度)

【問い合わせ】練馬区 北保健相談所 地域保健係 03-3931-1347